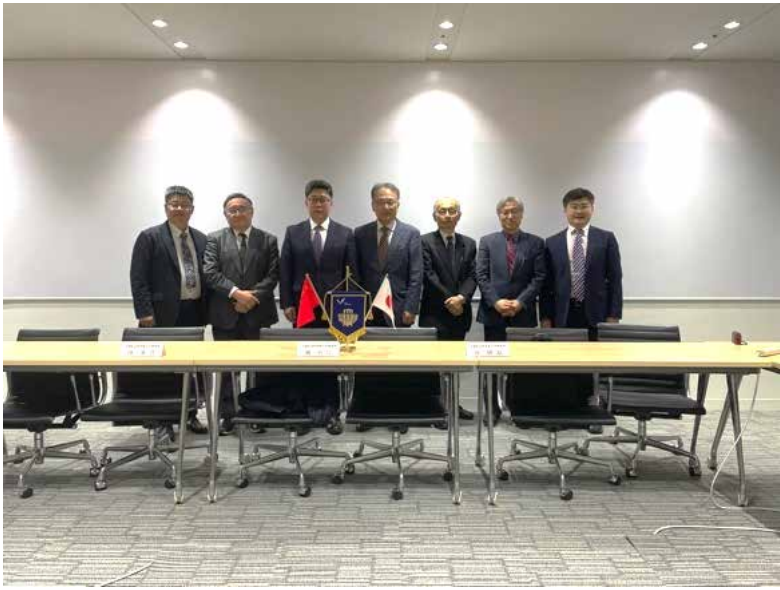


2016.7.2	国際ワークショップ「難民危機と中東・バルカン：紛争の連鎖と武器移転」開催
2016.7.25	『国際武器移転史』第2号発行
2016.11.19	研究所による海外研究者の招聘企画始まる（Keith Krause（ジュネーヴ高等国際・開発問題研究所教授）とJoseph A. Maiolo（ロンドン大学教授）招聘 
2016.11.22	第4回公開シンポ「世界の大学における軍縮研究－ヨーロッパの研究・教育機関を中心に－」開催
2016.12.12	研究叢書1：横井勝彦編『航空機産業と航空戦力の世界的転回』（日本経済評論社）出版
2017.1.20	『国際武器移転史』第3号発行
2017.3.8	国際ワークショップ「イギリスの戦車生産と戦時経済 1937-1945」（Benjamin Coombs）
2017.3.24	研究叢書2：榎本珠良編『国際政治史における軍縮と軍備管理－19世紀から現代まで－』（日本経済評論社）出版
2017.3.27	国際ワークショップ「戦間期の軍縮における科学技術の概念化－航空の技術転用と軍事的乱用 1919-1945－」（Waqar H.Zaidi）開催
2017.4.11	国際ワークショップ「ジェントルマン資本主義の省略と回避」（Andrew Dilley）開催
2017.4.13	国際ワークショップ「第二次世界大戦におけるブリティッシュネス報道－ラジオとブリティッシュ・ワールド－」（Simon Potter）開催
2017.6.27	第5回公開シンポ「冷戦期南アジアにおける軍事援助の展開」開催
2017.7.25	『国際武器移転史』第4号発行

2017.10.14	学会パネル報告「武器への道徳的な問いの諸相－負の問い、「正」の問い、「正ではない」問い－」（政治経済学・経済史学会秋季学術大会、大阪商業大学）
2017.11.21	第6回公開シンポ「ブリティッシュ・ワールド研究の新視点－帝国紐帯の政治経済史－」開催
2018.1.23	『国際武器移転史』第5号発行
2018.3.7	国際セミナー「大量破壊兵器とアメリカの中東外交－パリア・ウェポンズの系譜学－」（Ido Oren, Michelle Bentley）開催
2018.3.19	国際セミナー「戦間期と第二次世界大戦後：武器移転規制はどう変わった？」（Daniel Stahl）開催
2018.3.28	国際セミナー「武器の入手可能性と暴力との関係性」（Nicholas Marsh 他）開催
2018.7.20	国際セミナー「国際法の歴史における軍事技術の制限－パリア・ウェポンの系譜学－」（Miloš Vec）開催
2018.7.23	『国際武器移転史』第6号発行
2018.8.1	国際武器移転史研究所が明治大学特別推進研究インスティテュートに選定
2018.8.18	第7回シンポ「武器貿易条約（ATT）第4回締約国会議直前 世界の武器移転をめぐる理想と現実」開催
2018.10.20	学会パネル報告「『航空熱』とは何だったのか？－戦間期における民間航空事業を中心に－」（政治経済学・経済史学会秋季学術大会、一橋大学）
2018.11.24	国際セミナー「冷戦期国際航空研究の新動向－脱植民地化とジェンダーの観点から－」（Waqar H. Zaidi, Phil Tiemeyer）開催
2018.12.16	劉復國（台湾国立政治大学教授）、ソン・キョンホ（韓国国防大学教授）招聘
2018.12.18	第8回公開シンポ「冷戦期における台湾・韓国の安全保障政策－軍事援助と軍事的自立化をめぐる－」開催
2019.1.9	国際セミナー「係争地域における武器移転と循環メカニズム－バルカンと中東の事例を中心に－」（Andrey Edemskiy, Danilo Manic）開催
2019.1.21	『国際武器移転史』第7号発行
2019.2.28	研究叢書3：竹内真人編『ブリティッシュ・ワールド－帝国紐帯の諸相－』（日本経済評論社）出版
2019.4.16	全学共通総合講座（春学期）開講（コーディネーター：額満厚「アジア諸国の軍事的自立化の現段階－武器移転史の研究から－」）
2019.5.17	国際セミナー「独立前夜インド航空機産業の誕生と国際ネットワーク」（Aparajith Ramnath）開催
2019.7.5	国際セミナー「Japan's Awakening: Moving Toward an Autonomous Policy」（Lionel Fatton）開催
2019.7.23	『国際武器移転史』第8号発行
2019.9.2-3	研究合宿（霞ヶ浦・土浦、予科練平和記念館ほか）

2019.11.26/28	国際セミナー「ブリティッシュ・ワールド・コモンウェルスを経済を考える」（Andrew Dilley, Rachel Bright, Felicity Barnes）開催
2019.12.26-27	研究合宿（東北学院大学サテライト・キャンパス、仙台）
2020.1.21	『国際武器移転史』第9号発行
2020.2.20	研究叢書4：榎本珠良編『禁忌の兵器－パーリア・ウェポンの系譜学－』（日本経済評論社）出版
2020.3.6	研究叢書5：高田馨里編『航空の20世紀－航空熱・世界大戦・冷戦－』（日本経済評論社）出版
2020.4.16	新型コロナのため春学期対面授業開始が延期となり、オンライン授業に移行
2020.4～	全学共通総合講座（春学期）開講（「アジア諸国の軍事的自立化の現段階－武器移転史の研究から－」、コーディネーター：瀬瀬厚）
2020.7.27	『国際武器移転史』第10号発行
2021.1.21	『国際武器移転史』第11号発行
2021.3.1	研究叢書6：横井編『冷戦期アジアの軍事と援助』（日本経済評論社）出版
2021.4～	全学共通総合講座（春学期）開講（「アジア国際秩序の軍事再編と武器移転の連鎖」、コーディネーター：横井勝彦）
2021.7.23	『国際武器移転史』第12号発行
2021.9.21	全学共通総合講座（秋学期）開講（「ポスト・コロナ時代の軍縮・軍備管理を展望する」、コーディネーター：榎本珠良）
2022.1.21	『国際武器移転史』第13号発行
2022.4.12	全学共通総合講座（春学期）開講（「アジア国際秩序の軍事再編と武器移転の連鎖」、コーディネーター：須藤功）
2022.7.26	『国際武器移転史』第14号発行
2022.9.20	全学共通総合講座（秋学期）開講（「ポスト・コロナ時代の軍縮・軍備管理を展望する」、コーディネーター：榎本珠良）
2022.10.25	研究セミナー（第1回：白戸伸一「1950年代米国主導の航空機国産化プロセス」）
2022.11.15	研究セミナー（第2回：下斗米秀之「冷戦期米国の科学技術を支えた人材育成－「技術移転」および「頭脳流出」との関連から－」）
2022.12.6	研究セミナー（第3回：千田武志「日本海軍における兵器国産化の進展と武器移転の変容－主力艦の建造期を中心として－」）
2023.1.10	研究セミナー（第4回：瀬瀬厚「錦州爆撃－忘れられた都市無差別爆撃－」）
2023.1.23	『国際武器移転史』第15号発行
2023.3.14	研究セミナー（第5回：永岑三千輝「第一次大戦終了までのユンカーズの航空機開発－史料紹介－」）
2023.3.28	研究セミナー（第6回：太田慧「イギリス海軍予算報告書に見る、軍艦価格の上昇と電子装備の増加－1949-1963－」）

2023.4～	全学共通総合講座（春学期）開講（「アジア国際秩序の軍事再編と武器移転の連鎖」、コーディネーター：須藤功）
2023.4.25	研究セミナー（第7回：石原明徳「1950年代の魚雷艇輸出について」）
2023.5.16	研究セミナー（第8回：佐原徹哉「欧州難民のバルカン・ルートの現状、違法なプッシュ・バックとその背景」）
2023.6.27	研究セミナー（第9回：里見柚花「19世紀中頃から第一次世界大戦前期における国際情報通信史」）
2023.6.29	中国社会科学院日本研究所研究者の来訪（協定調印の事前打ち合わせ）
2023.8.1	国際武器移転史研究所が特別推進研究インスティテュートとして継続承認（5年間）
2023.8.1	研究所所長を須藤現所長が続投（2期目：2025.7.31.迄）
2023.8.31	『国際武器移転史』第16号発行
2023.9.5	研究セミナー（第10回：竹内真人「ブリティッシュ・ワールドを超えてー帝国紐帯をめぐる駆け引きと多文化アイデンティティー」）
2023.10.12	研究セミナー（第11回：高田馨里「冷戦期、アメリカ軍事民間航空政策ー戦争とミリツーリズム（militourism）の展開を中心にー」）
2023.10.19	第9回公開シンポ「日本の防衛産業と安全保障政策ーロシア・ウクライナ戦争から考えるー」開催
2023.11.28	研究セミナー（第12回：福士純「北米防空司令部の設立とカナダにおける「軍器独立」の断念ー国産戦闘機アロー開発計画の失敗を中心にー」）
2023.12.18	中国社会科学院日本研究所との間で学術交流協定を調印 
2023.12.20	金暎根（高麗大学日本研究所教授）来訪、招聘打ち合せ
2024.1.10	第10回公開シンポ「分断する国際秩序ー軍事緊張と平和創造のはざまでー」開催

2024.1.31	『国際武器移転史』第17号発行
2024.4～	全学共通総合講座（春学期）開講（「アジア国際秩序の軍事再編と武器移転の連鎖」、コーディネーター：須藤功）
2024.4.16	研究セミナー（第13回：下斗米秀之（政治経済学部）「第二次世界大戦中のアメリカにおける科学者・技術者教育－The Engineering, Science, Management War Training (ESMWT) programの紹介を中心に－」）
2024.4.25	金ヨング教授招聘・研究交流
2024.5.28	研究セミナー（第14回 西尾隆志「日独航空技術移転史の到達点」）
2024.7.11	第11回公開シンポ「ガザのジェノサイドとリベラリズムの危機」開催
2024.7.16	研究セミナー（第15回：里見柚花「19世紀後半の電気通信産業とロンドン商工会議所」）
2024.7.25	中国社会科学院日本研究所の来訪（共同研究の打ち合わせ）
2024.7.26	『国際武器移転史』第18号発行
2024.9.24	研究セミナー（第16回：奥山誠「ドイツ労働組合総同盟の雇用創出構想－「積極的な世界経済政策」からWTBプランへ－」）
2024.10.15	研究セミナー（第17回：田嶋信雄「東ドイツ＝中国関係と世界政治の変動：1978－1990」）
2024.11.7	Christopher Hughes（ウォーリック大学教授）と共同研究の打ち合せ
2024.11.19	研究セミナー（第18回：西尾隆志（研究所・研究推進員）「日本の防衛産業に関する研究：Christopher W. Hughes, "Japan's defence industry," in Hartley and J. Belin eds., <i>The Economics of the Global Defence Industry</i> , Routledge, 2019の紹介」）
2024.11.29	国際シンポジウム「Modern War Industry & Science : Focusing on the Perpetual War in the Middle East」開催
2024.12.17	研究セミナー（第19回：太田慧「中国の防衛産業に関する研究：Sarah Kirchberger and Johannes Moh, "China's defence industry," in K. Hartley and J. Belin eds., <i>The Economics of the Global Defence Industry</i> , Routledge, 2019の紹介」）
2025.1.9	研究所がグローバルフロントの16階から17階に移転
2025.1.30	『国際武器移転史』第19号発行
2025.3.5-7	研究合宿（岐阜・愛知：各務原航空宇宙博物館・大江時計台航空史料室） 

2025.4～	全学共通総合講座（春学期）開講（「アジア国際秩序の軍事再編と武器移転の連鎖」、コーディネーター：須藤功）
2025.5.19	Christopher Hughes（ウォーリック大学 UK 教授）招聘
2025.5.21	国際ワークショップ「日本の軍需産業と防衛政策」 第1 報告：「日本の防衛産業戦略と戦闘機生産-ティアワン・ステータスの獲得とGCAPプロジェクト-」クリストファー・ヒューズ（ウォーリック大学教授） 第2 報告：「日米関係の変化と日本の軍事産業-「専守防衛」の軍事産業から「日米同盟」下の軍事産業へ-」白戸 伸一（国際武器移転史研究所・客員研究員） コメンテーター：額田 厚（国際武器移転史研究所 客員研究員） 
2025.6.3	研究セミナー（第21回：石原明徳「1980年代に軍事転用された海外移転航空機」）
2025.6.21	「イラン・イスラエル戦争の即時停戦を求める研究集会」開催 報告：「国際武器移転構造から見たイラン・イスラエル戦争」佐原 徹哉（明治大学） リレートーク：「イランの視点から」松永 泰行（東京外国語大学） 「パレスチナ・イスラエルの視点から」鈴木 啓之（東京大学） 「レバノンの視点から」黒木 秀充（東京外国語大学） 「ロシア・ウクライナ戦争の視点から」下斗米 伸夫（神奈川大学） 「極東安全保障の視点から」額田 厚（明治大学） 司会：横井 勝彦（明治大学国際武器移転史研究所）
2025.7.25	『国際武器移転史』第20号発行